

生活介護事業所 えがお

1 基本方針

地域に生活される障がいのある方が健康で生きがいを持ち、安心した自立生活ができるよう、充実した日中活動の提供と支援を行う。

また、地域住民等との連携強化や情報公開等による透明性の確保を図り、地域から信頼される事業所となるように努める。

2 利用者の状況（令和 7 年 3 月 3 1 日現在）

（1）入退所の状況

（人）

利用人数			前年度末 利用者数	令和7年度中の入退所状況								利用 延人員	定員に 対する 年間 平均 稼働率	年度末 利用者 数
区 分		定員		入所 人員	退所 人員	退所理由別								
						地域移行		家庭 復帰	施設 移管	契約 解除 (入院 等)	死亡			
						GH	アパート等							
生活介護		30	37	4	4	0	0	1	3	1	0	8,393	104.4%	37
6年度	生活介護	30	36	4	3	1	0	0	1	1	0	8,273	102.1%	37

（2）利用者の障害支援区分

生活介護 [4. 6]

（人）

性別	障 害 支 援 区 分							計
	非該当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	
男性	0	0	1	4	6	9	2	22
女性	0	0	0	2	2	6	5	15
計	0	0	1	6	8	15	7	37

3 事業の実施状況

（1）相談及び援助の充実

法人内グループホームからの利用者が多いため、日常生活を含めて利用者の状態を知ることができる点を生かし、昼夜をとおして連動的な支援を提供した。

また在宅からの利用者についても、相談事業所及び家族とのコミュニケーションや情報公交換を大切にし、相談しやすい環境づくりを心掛けた。

（2）自己決定・自己選択のできる支援の提供

- ア 外部日中活動場所「ほほえみ」を移転及び廃止し、新たに「てんまん」を開設した。
在宅での入浴が困難な方に入浴サービスを提供し、少人数でゆったりと過ごせるよう支援をした。また、てんまんの開設を機に班編成を改め、利用者がやりたいことを選択できる機会を増やすことを目標に支援をした。
- イ 高齢のご利用者が多いことから、生きがいづくりの中で生活リハビリを重点に活動を行った。月 1 回の理学療法士による機能評価から日常生活で取り入れられる機能訓練を実施した。また音楽療法など利用者が楽しみながら参加ができる介護予防にも力を入れた。
- ウ 地域の中で社会生活力の向上を目標に、生産活動等を行った。清掃業務、喫茶、手芸、農業、役場花壇管理、廃品回収を行っているが生産活動と利用者の適性の乖離が大きくなってきており、活動内容の見直しが必要となっている。多くの利用者が無理なく携わることのできる作業を継続して検討していく。

(3) 地域との交流

町内の祭りへの出店参加や、生産活動で製造した商品の直販売を行い、地域の方たちとの交流を行った。また直売所への納品や役場花壇の管理委託は継続して行った。施設の知名度を上げ、公民館活動への参加や近隣住民と合同で行事を開催するなど、地域とのふれあいを得られるような活動を模索していく。

(4) 経営改善・基盤の確立

ア グループホーム入所からの生活介護の利用のほか、在宅からの利用も増え通年をとおして安定した運営ができた。あまつホーム短期入所の利用をきっかけに日中の生活介護の利用に繋がった。

イ 短時間利用や強度行動障害を有する方等についても積極的に受入れ、専門性を持った支援を核に関係機関等に働きかけ稼働率増に繋げていきたい。

(目標稼働率：100%、実施稼働率：104.4%)

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	実習期間(月)	実人員	延人員
鳥取県新規採用職員	9月	2人	4人
計		2人	4人

(2) ボランティアの受入実績

秋祭りボランティア10名、ゴスペルオーブ3名

5 付帯事業

(1) 日中一時支援事業 定員 なし(主な受入市町村：南部町、日野町)

(2) 利用実績

(人)

事業区分	今年度利用者数		前年度実績利用者数	
	実人員	延人員	実人員	延人員
日中一時支援事業	3	134	2	149